

ホストタウン・ウズベキスタンを学ぼう

本場の料理「Mazali」(マザリ) (Brycho) (ブリョ)

市が2020東京オリンピック・パラリンピックでレ



スリング、柔道のホストタウンとなるウズベキスタンの文化を子ども達に知ってもらおうと、同国出身の国際交流員・アルトゥルさんの出前授業とウズベキスタン料理の給食が10月21日、岡田小でありました。出前授業では5・6年生に同国の特長や文化、日本との関わりなどを説明。その後、子ども達は民族衣装の試着を体験しました。学校給食では牛肉やタマネギでご飯を炊きこんだ「ブロン」やひよこ豆(フクロ)のスープ、香草(ディル)のサラダなどの郷土料理を味わいました。これらの献立は、平成28年度に市教委の栄養士が同国大使館から直接もらった本格的なものです。4年生の子ども達は、この日のために自己紹介や「いただきます」「おいしい」などの言葉をウズベク語で調べて、給食を食べながらアルトゥルさんとの会話を楽しみました。また「おいしい」「もっとよそつてもらえばよかった」などの感想がありました。

《学校教育課》

多様な連携で将来の地域交通のあり方を検討

公共交通×自家用車で実証実験



公共交通と住民同士の支え合いによる新たな地域交通の実現

に向けた「Maas」の実証実験に、日本交通機、オムロンソーシアルソリューションズ(株) (以下OSS)と共同で取り組みます。Maasとは、ICTを活用して、タクシーやバスなど、複数の交通手段・交通機関を組み合わせて、一体的な移動サービスとして提供する仕組みで、スマホアプリなどを用いて、目的地までの経路検索や送迎の手配などができるサービスのこと。今回、市が共同で取り組む実証実験は、OSSが開発したスマホアプリ「memo」を使



用し、タクシー、路線バス、そして住民同士の送迎を組み合わせた最適な移動手段やルートの検索ができるほか、市民ドライバーによる送迎の手配ができるもの。

実証実験は、加佐地区と西地区高野地域で、市民ドライバーと学生や高齢者などの利用者各200人を対象に来年の4月から3か月間実施する予定です。公共交通と住民同士の送迎を組み合わせたMaasの取り組みは全国初となるもので、市民の移動の利便性向上と効率化を期待しています。

《企画政策課》

地域防災の要 消防団の活動

女性消防団員が全国の舞台で操法を披露

消防用機械器具の取り扱いや操作の基本の訓練である消防操法。全国の女性消防団員が消防操法の正確さや迅速さを競う全国女性消防操法大会が11月13日、横浜市で開催され、京都府代表として舞鶴市女性消防団員が初出場しました。市では、現在12人の女性消防

団員が火災予防広報や住宅用火災警報器設置の啓発などの活動をしており、大会の出場にあたり、平日夜間に猛練習を重ねて技術の向上や団結力を強めてきました。今後も地域防災の要としての活動を続けていきます。

《消防本部》

舞鶴総合防災訓練を実施

10月27日、海上自衛隊舞鶴教育隊で、大規模地震を想定した舞鶴総合防災訓練を実施しました。

訓練には国・府の防災関係機関や地元消防団、自治連合会など23機関・団体約400人が参加。約600人の来場者が見守る中、はしご車を使った建物からの救出・搬送やヘリコプターによる搬送、ドローンによる被害状況確認・映像伝達、避難所開設・運営などの訓練が披露されました。また、排水ポンプ車やはしご車などの特殊車両や防災関連機材の展示、煙中避難体験、水中歩行体験などにも多くの人が訪れ、災害時の行動などについて学びました。

《危機管理・防災課》

